

ユーザマニュアル TKC FX4 シリーズ版 処理手順

2019/11/25 株式会社 HAYAWAZA

1. 内容

2. 事業所データの作成 2 1.1.消費税情報の確認 2 1.2.マスター出力 7 3. 事業所の作成 11 3.1.事業所データの新規作成 11 3.2.事業所データの設定 18 4. 弥生版と TKC FX4 版の違い 23 4.1.入力方法 23 4.2.マッチングリスト 24 5. 書き出し準備 27 6. 仕訳データの取込 36 7. コンパート時の勘定科目と課税区分について 40 8. 取引先一覧の登録とコンバート方法 42 8.1.取引先一覧マスターの登録 42 8.2.パターン設定時の注意点 45 8.3.取引先マッチングリストの登録 46 8.4.「0:随時入力」で取引先名を出力する方法 48 8.5.TKC 取込時のエラー対処方法 50	1.	内容	1
1.2.マスター出力73. 事業所の作成113.1.事業所データの新規作成113.2.事業所データの設定184. 弥生版と TKC FX4 版の違い234.1.入力方法234.2.マッチングリスト245. 書き出し準備276. 仕訳データの取込367. コンバート時の勘定科目と課税区分について408. 取引先一覧の登録とコンバート方法428.1.取引先一覧マスターの登録428.2.パターン設定時の注意点458.3.取引先マッチングリストの登録468.4.「0:随時入力」で取引先名を出力する方法48	2.	事業所データの作成	2
3. 事業所の作成 11 3.1.事業所データの新規作成 11 3.2.事業所データの設定 18 4. 弥生版と TKC FX4 版の違い 23 4.1.入力方法 23 4.2.マッチングリスト 24 5. 書き出し準備 27 6. 仕訳データの取込 36 7. コンバート時の勘定科目と課税区分について 40 8. 取引先一覧の登録とコンバート方法 42 8.1.取引先一覧マスターの登録 42 8.2.パターン設定時の注意点 45 8.3.取引先マッチングリストの登録 46 8.4.「0:随時入力」で取引先名を出力する方法 48		1.1.消費税情報の確認	2
3.1.事業所データの新規作成113.2.事業所データの設定184. 弥生版と TKC FX4 版の違い234.1.入力方法234.2.マッチングリスト245. 書き出し準備276. 仕訳データの取込367. コンバート時の勘定科目と課税区分について408. 取引先一覧の登録とコンバート方法428.1.取引先一覧マスターの登録428.2.パターン設定時の注意点458.3.取引先マッチングリストの登録468.4.「0:随時入力」で取引先名を出力する方法48		1.2.マスター出力	7
3.2.事業所データの設定184. 弥生版と TKC FX4 版の違い234.1.入力方法234.2.マッチングリスト245. 書き出し準備276. 仕訳データの取込367. コンバート時の勘定科目と課税区分について408. 取引先一覧の登録とコンバート方法428.1.取引先一覧マスターの登録428.2.パターン設定時の注意点458.3.取引先マッチングリストの登録468.4.「0:随時入力」で取引先名を出力する方法48	3.	事業所の作成	11
4. 弥生版と TKC FX4 版の違い 23 4.1.入力方法 23 4.2.マッチングリスト 24 5. 書き出し準備 27 6. 仕訳データの取込 36 7. コンバート時の勘定科目と課税区分について 40 8. 取引先一覧の登録とコンバート方法 42 8.1.取引先一覧マスターの登録 42 8.2.パターン設定時の注意点 45 8.3.取引先マッチングリストの登録 46 8.4.「0:随時入力」で取引先名を出力する方法 48		3.1.事業所データの新規作成	11
4.1.入力方法234.2.マッチングリスト245. 書き出し準備276. 仕訳データの取込367. コンバート時の勘定科目と課税区分について408. 取引先一覧の登録とコンバート方法428.1.取引先一覧マスターの登録428.2.パターン設定時の注意点458.3.取引先マッチングリストの登録468.4.「0:随時入力」で取引先名を出力する方法48		3.2.事業所データの設定	18
4.2.マッチングリスト245. 書き出し準備276. 仕訳データの取込367. コンバート時の勘定科目と課税区分について408. 取引先一覧の登録とコンバート方法428.1.取引先一覧マスターの登録428.2.パターン設定時の注意点458.3.取引先マッチングリストの登録468.4.「0:随時入力」で取引先名を出力する方法48	4.	弥生版と TKC FX4 版の違い	23
5. 書き出し準備		4.1.入力方法	23
6. 仕訳データの取込		4.2.マッチングリスト	24
7. コンバート時の勘定科目と課税区分について 40 8. 取引先一覧の登録とコンバート方法 42 8.1.取引先一覧マスターの登録 42 8.2.パターン設定時の注意点 45 8.3.取引先マッチングリストの登録 46 8.4.「0:随時入力」で取引先名を出力する方法 48	5.	書き出し準備	27
8. 取引先一覧の登録とコンバート方法 42 8.1.取引先一覧マスターの登録 42 8.2.パターン設定時の注意点 45 8.3.取引先マッチングリストの登録 46 8.4.「0:随時入力」で取引先名を出力する方法 48	6.	仕訳データの取込	36
8.1.取引先一覧マスターの登録 42 8.2.パターン設定時の注意点 45 8.3.取引先マッチングリストの登録 46 8.4.「0:随時入力」で取引先名を出力する方法 48	7.	コンバート時の勘定科目と課税区分について	40
8.2.パターン設定時の注意点	8.	取引先一覧の登録とコンバート方法	42
8.3.取引先マッチングリストの登録		8.1.取引先一覧マスターの登録	42
8.4.「0:随時入力」で取引先名を出力する方法48		8.2.パターン設定時の注意点	45
		8.3.取引先マッチングリストの登録	46
8.5.TKC 取込時のエラー対処方法50		8.4.「0:随時入力」で取引先名を出力する方法	48
		8.5.TKC 取込時のエラー対処方法	50

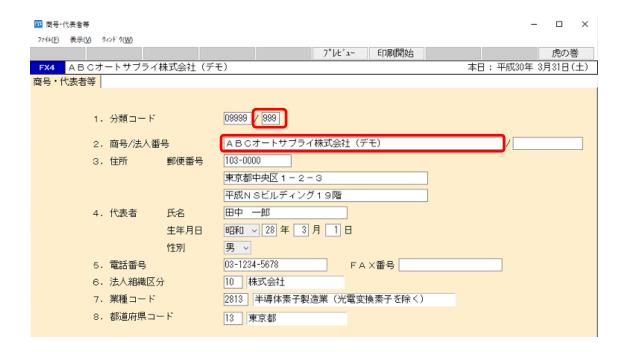
2. 事業所データの作成

1.1.消費税情報の確認

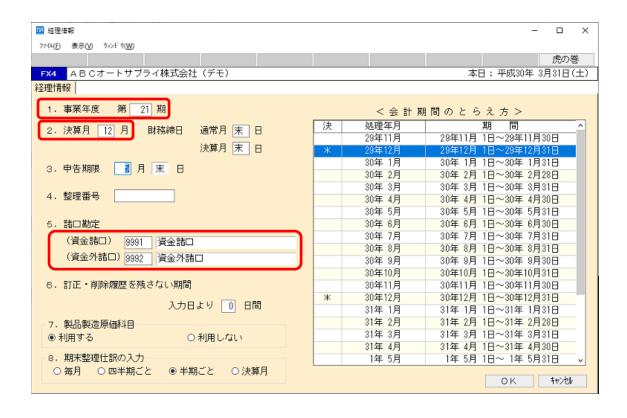
HAYAWAZAXで事業所データの作成を行う前に、TKC FX4 シリーズで作成する事業所の消費税情報の確認と、勘定科目、補助科目(取引先、自社銀行口座等)、部門のマスターの出力を行います。

※TKC FX4 シリーズ版は弥生会計と違い自動連動は行いませんので、マスター登録を行わないとパターン登録を行う事が出来ません。

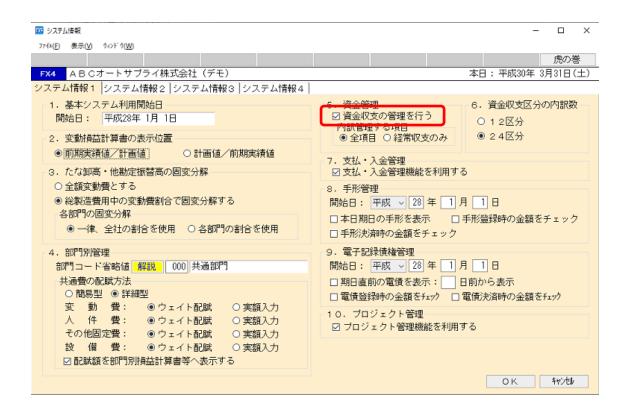
「A.基本情報の確認」→「1. 商号・代表者等」の画面の以下の項目を確認します。



「A.基本情報の確認」→「2. 経理情報」の画面の以下の項目を確認します。



「A.基本情報の確認」→「3. システム情報」の画面の以下の項目を確認します。



「A.基本情報の確認」→「4. 消費税情報」の画面の以下の項目を確認します。



HAYAWAZAXで設定する消費税情報は、

「課税方式区分」
:本則課税方式、簡易課税方式、免税事業者

「税額経理区分」・税抜き経理、税込み経理

「端数処理」・切り捨て、四捨五入、切り上げ

「資金管理」 : 資金収支の管理を行う、行わない

「事業区分」 :第一種(卸売り分)、第二種(小売り分)、

第三種(製造建築)、第四種(その他)、 第五種(サービス等)、第六種(不動産)

「諸口勘定」・資金諸口コード、資金外諸口コード

以上から該当するものを選択します。

消費税情報の確認が出来たら「勘定科目残高」、「口座/取引先別残高」、「部門別科目別残高」のマスターの出力を行います。

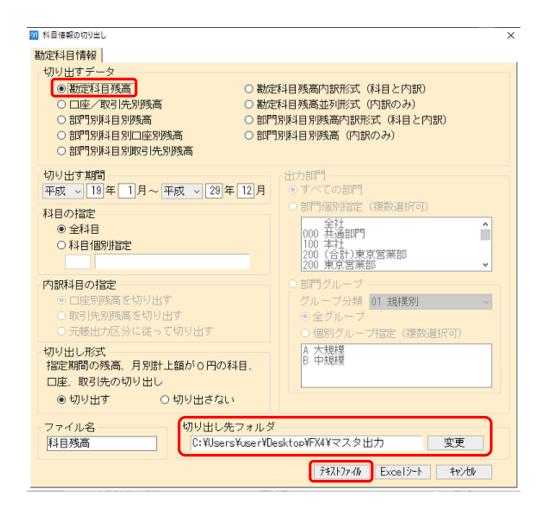
尚、「取引先一覧」の登録方法と活用に関しては、本マニュアルにある「取引先一覧の登録とコンバート方法」をご確認下さい。

1.2.マスター出力

「勘定科目残高」、「□座/取引先別残高」、「部門別科目別残高」のマスターの出力は「会社情報」→「F.データ切り出し」→「61. 科目情報の切り出し」画面から選択します。

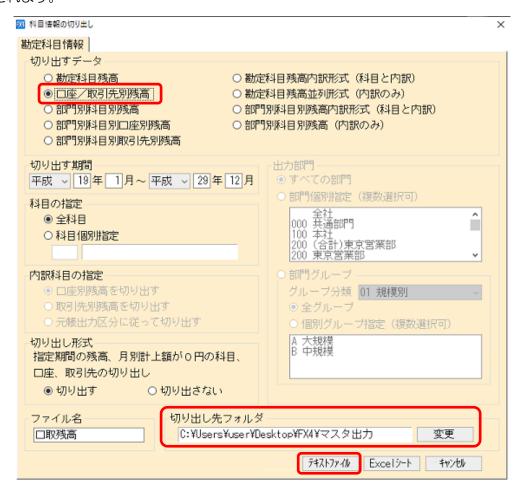


上記のメニューを選択すると以下の画面が表示されます。



「勘定科目残高」を選択して「テキストファイル」ボタンを選択します。選択すると切り出し先フォルダにファイルが出力されます。

以下は、「口座/取引先別残高」の出力方法をご説明します。「口座/取引先別残高」を選択して「テキストファイル」ボタンを選択します。選択すると切り出し先フォルダにファイルが出力されます。



以下は、部門に関する出力方法をご説明します。「部門別科目別残高」もしくは、「部門別科目別口座別残高」を選択して「テキストファイル」ボタンを選択します。選択すると切り出し先フォルダにファイルが出力されます。



注意:「部門別科目別残高」もしくは、「部門別科目別口座別残高」の出力は、部門管理がされていない場合は、出力することができませんのでご注意下さい。

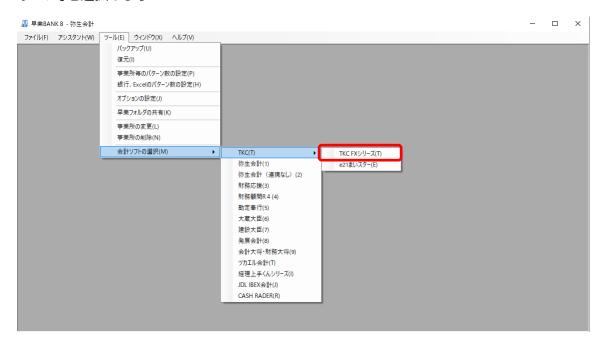
3. 事業所の作成

3.1.事業所データの新規作成

HAYAWAZAXを起動すると、初期設定では弥生会計版になっています。



TKC FX4 シリーズ版に変更するには、「ツール」の「会計ソフトの選択」で「TKC FX4 シリーズ」を選択します



会計ソフトの変更を行うと、タイトルバーの表示が「TKC FX シリーズ」に変更します。



メニューの「ファイル」→「事業所の新規作成」をから事業所の設定を行います。

「事業所の新規作成」を選択すると、以下の画面が表示されます。



登録する会社名、決算期、会計期間、消費税情報を設定します。

TKC FXシリーズ設定ウィザード - 事業所詳細の設定(1/3)



会社情報の設定が出来たら「次へ」を選択します。

下記の画面では、HAYAWAZAXで作成した事業所にパスワードを設定したい場合に設定を行います。「管理者のパスワードを設定する」チェックボックスをチェックしてパスワードの入力して下さい(不要の場合は、この画面で管理者パスワードを省略して下さい)。

TKC FXシリーズ設定ウィザード - 管理者パスワードの設定画面(2/3)



注意:

このパスワードの設定は、事業所を作成した後でも設定することは可能です。 詳しくは、「ユーザ管理」をご確認下さい。 管理者パスワード設定画面で「次へ」を選択すると下記の画面が表示されます。 設定の確認画面です。設定内容が正しければ「登録する」を選択して下さい。修正する場合は、「戻る」を選択して修正して下さい。



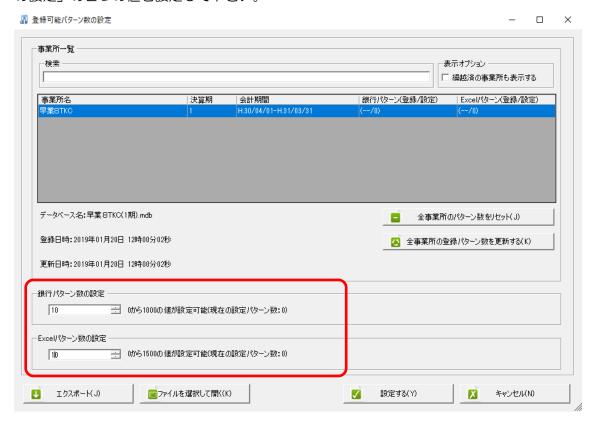
正しく登録されると完了画面が表示されます。

TKC FXシリーズ設定ウィザード - 確認画面(3/3)



事業所の登録が完了すると、事業所で使用する銀行もしくは、Excel のパターン数を設定します。

「登録可能パターン数の設定」画面では、「銀行パターン数の設定」と「Excel パターン数の設定」の2つの値を設定して下さい。



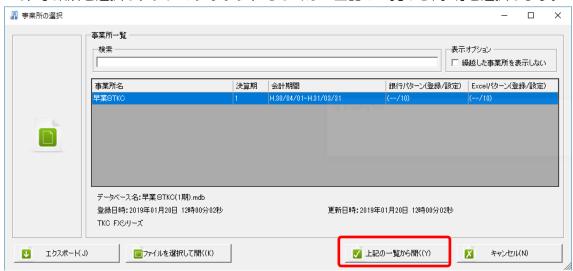
注意:

登録可能なパターン数は、「ヘルプ」⇒「ライセンス情報」で確認して下さい。体験版ライセンスには、銀行パターン、Excel パターンとも「10」となっております。 上記の画面で設定したパターン数は、後で変更することが可能です。詳しくは、「登録パターン数の設定」をご確認下さい。

パターン数を正しく入力し「設定する」ボタンをクリックすると、起動時の画面に戻ります。

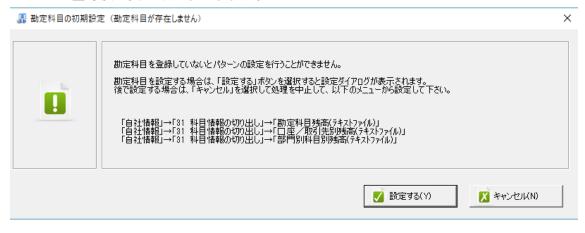
3.2.事業所データの設定

メニューの「ファイル」→「事業所を開く」を選択すると以下の事業所一覧が表示されるので、事業所を選択し、ダブルクリック、もしくは「上記の一覧から開く」を選択します。



事業所を開くと「勘定科目の初期設定」画面が表示されます。

(マスター登録後は表示されなくなります)



「設定する」を選択するとマスターデータの登録画面が表示されます。

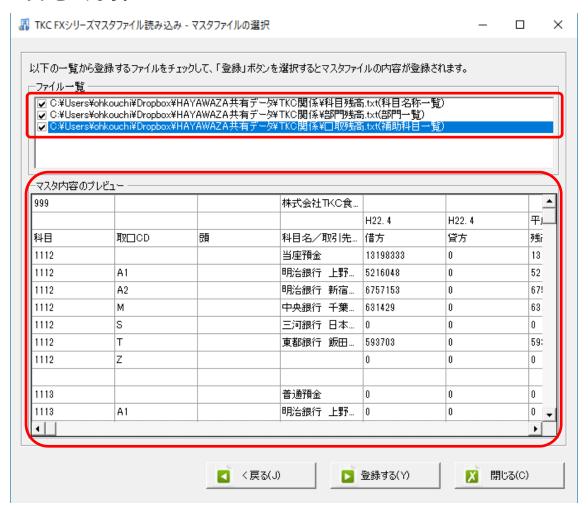
TKC から出力した「勘定科目残高」、「口座/取引先別残高」、「部門別科目別残高」のマスターファイルを画面上にドロップします。



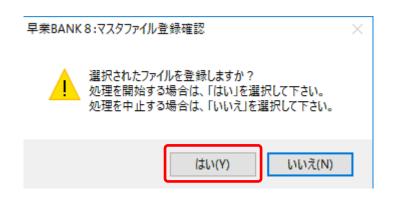
データをドロップするとデータのファイル選択画面が表示されます。

画面上部にはドロップしたデータファイルが一覧で表示され、画面下部にマスターデータのプレビューが表示されます。複数のデータをドロップした場合は選択したマスターファイルの内容がプレビュー画面に表示されます。

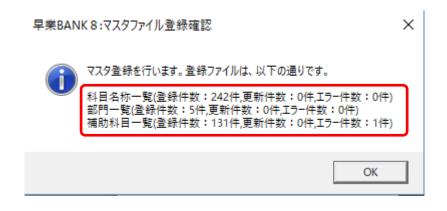
ファイル一覧でチェックをつけたデータが登録の対象となりますので、必要なデータにチェックをつけます。



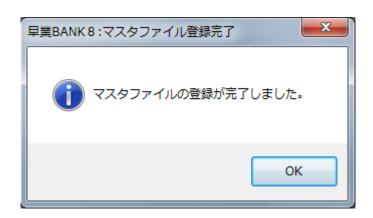
データファイルのチェックをつけ、「登録する」を選択すると確認画面が表示されるので、 「はい」を選択します。



上記の画面で「はい」を選択すると、マスターファイルの登録が開始され、終了時に登録 結果が表示されます。



上記の画面で「OK」をクリックするとマスター登録が完了し、以下の画面が表示されます



すべてのマスターの登録が完了したらパターンの登録、設定を行っていきます。

※詳しくはマニュアルを参照ください。

4. 弥生版と TKC FX4 版の違い

パターン登録、変換設定に関しては弥生会計版と大きな違いはありません。マニュアルを 参照してください。

4.1.入力方法

TKC FX4 版では、未変換リスト、仕訳エディタで勘定科目、補助科目、部門の入力を行う際にコードで入力、検索を行う事が出来ます。



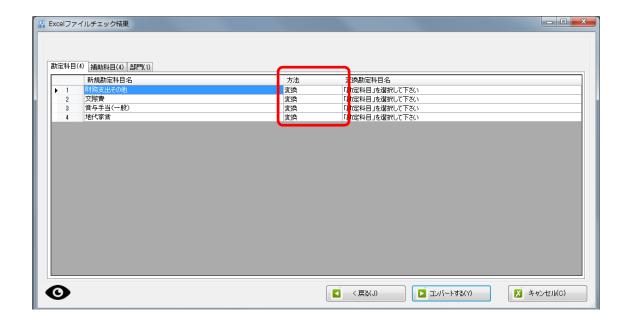
4.2.マッチングリスト

パターン設定で勘定科目、補助科目、部門を直接読み込む設定を行っている際に登録されていないものがあった場合、以下のような画面が表示されます。

コード番号ではなく勘定科目名、補助科目名(取引先、自社銀行口座等)、部門名で判断されます。同じ勘定科目名でコード番号が違う科目、部門がある場合は区別のつくように入力しておいてください。

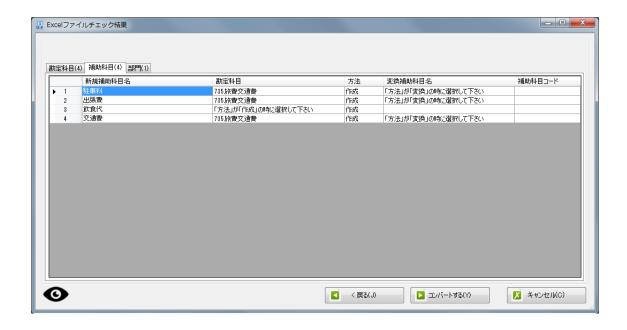
• 勘定科目

新規作成を行う事は出来ません。既存の科目に変換することのみが可能です。



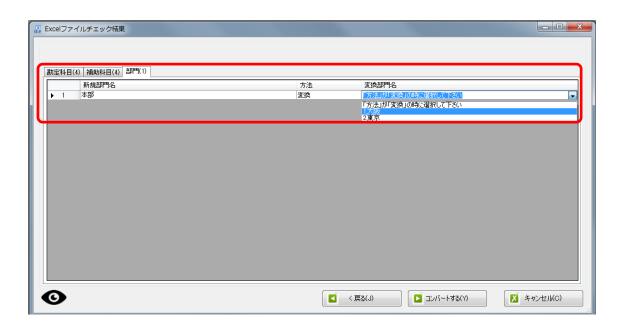
• 補助科目

新規作成を行う事は出来ません。既存の補助科目に変換することのみが可能です。



• 部門

新規作成を行う事は出来ません。既存の部門に変換することのみが可能です。



5. 書き出し準備

TKC FX4 シリーズ版では、自動連動は行われないので、HAYAWAZAXでファイルを出力し、TKC FX4 シリーズで取り込み処理を行う必要が有ります



仕訳エディタに全ての仕訳を反映させ、上記の画面で書き出しを選択すると、以下の画面 が表示されます。

この画面で書き出しオプションを設定することが出来ます。



※画面左上の書き出し件数には現在書き出し可能な仕訳件数が表示されています。

・書き出しの対象期間(カレンダー)

書き出しを行うデータの対象期間を選択出来ます。初期設定では会計期間中のデータ全て が書き出しの対象となっています。

カレンダーをクリックすると、該当する日付の仕訳件数が画面左上に表示されてきます



※特定の日付を複数選択することは出来ません。1 日のみか、もしくは連続する数日を選択することが出来ます。

• 書き出しデータオプション

「仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)」:

書き出し可能な仕訳の内、現在仕訳エディタに表示されている仕訳のみを書き出す場合に チェックを入れます。

「すでに書き出された仕訳データを対象」:

一度書き出し済みの仕訳データを再度書き出す場合にチェックをつけます。



一度書き出した仕訳を再度書き出す事も可能です。仕訳エディタに書き出したい仕訳を表示させ、書き出しデータオプションのチェックを両方つけることにより再度書き出しを行うことが出来ます。

・出力後オプション

「書き出しした仕訳を削除する」

仕訳の書き出しを行っても HAYAWAZAXの中にデータが残っており、再度書き出しを行う事が出来ますがこちらのチェックを付けると書き出しと同時に仕訳を削除し、 HAYAWAZAXにデータは残りません。

「ゴミ箱の仕訳を削除する」

ゴミ箱に隔離している仕訳を書き出しと同時に自動で削除します



「摘要への書き出しオプション」

HAYAWAZAXでは摘要を借方・貸方でそれぞれ3つまで設定できますがTKCの摘要は1つの「摘要」のみとなります。よって、HAYAWAZAXから出力する際は、6つの摘要を連結して出力します。

HAYAWAZA X に入力されている摘要のうち、書き出す摘要を指定できます。 HAYAWAZA X で入力されていてもここのチェックが外れている場合は出力されません。 摘要は「借方摘要1~3」、「貸方摘要1~3」の順に連結されます。

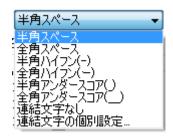
書き出したい摘要にチェックをつけます。



「連結文字」

摘要と摘要を連結する文字を指定する事が出来ます。

「連結文字」を選択し、以下のリストから指定します。



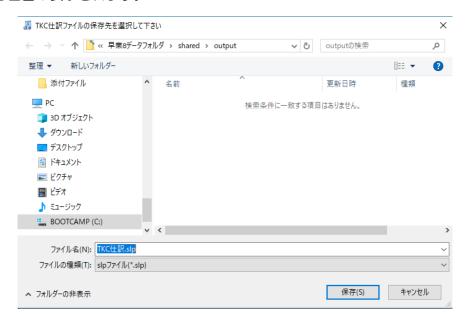
「前後の空白を削除」

摘要の空白を削除して書き出しを行います。



詳しくはマニュアルの「書き出しの初期設定」をご確認ください。

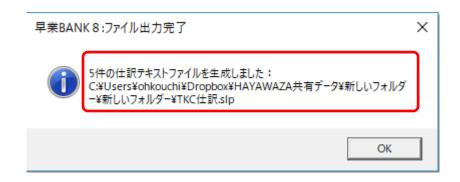
書き出し画面で全ての設定を確認し、「書き出す」を選択すると以下のファイルの出力先を選択する画面が表示されます。



保存先を選択し、「保存」を選択するとファイルの出力が行われます。

このときに出力ファイル名を変更することは可能です。

ファイルの書き出しが完了すると、以下の画面が表示されます。

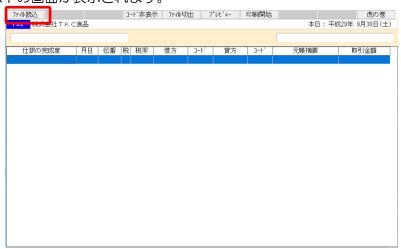


6. 仕訳データの取込

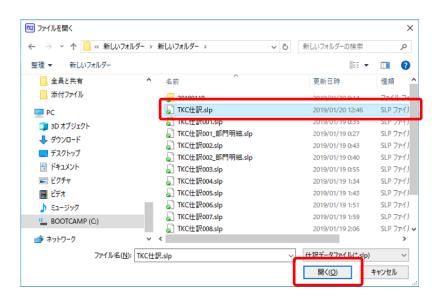
TKC FX4 シリーズの「日常業務」→「A.取引の入力」→「9. 他社システム自動仕訳の取込」を選択します。



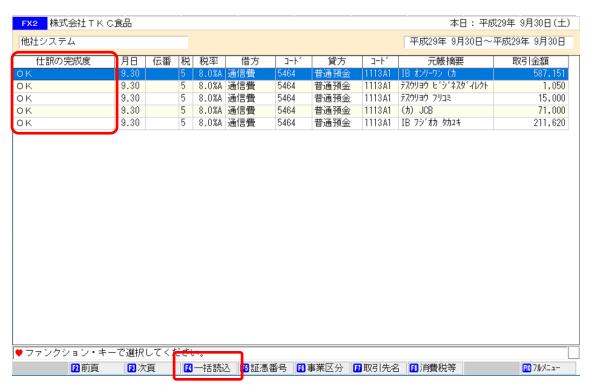
選択すると以下の画面が表示されます。



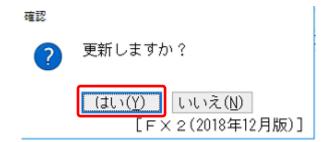
上記の画面で「ファイル取込」ボタンを選択します。選択すると以下の画面が表示されます。



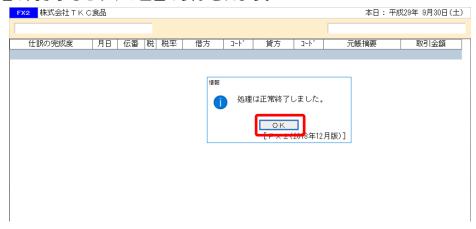
上記の画面で仕訳ファイルを選択したら「開く」を選択します。選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面で「仕訳の完成度」がOKと表示されているのを確認してから「F4.一括読込」を選択します。選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面が表示されたら内容を確認して「はい」を選択します。取込の処理が行われます。処理が完了すると以下の画面が表示されます。



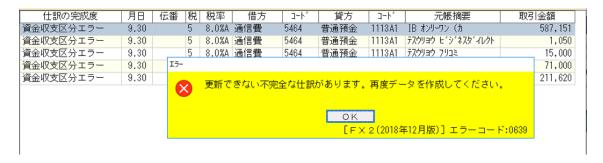
取込をした仕訳は、仕訳帳などでご確認下さい。



尚、取込時点でエラーが発生する場合があります。



上記の状態で「F4.一括読込」を選択すると以下の画面が表示されます。



この場合は、エラーの内容に応じて、再度 HAYAWAZAXで生成する仕訳の内容を確認して再コンバートして下さい。

7. コンバート時の勘定科目と課税区分について

本章では、コンバート時に指定した勘定科目と課税区分に関する関連付けについて説明致します。HAYAWAZAXでは、各事業所単位で勘定科目と課税区分を管理しています。メニューの「設定」 \rightarrow 「勘定科目の管理」 \rightarrow 「科目別課税区分の管理」を選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面で勘定科目と会税区分の関連付けをおこなっております。基本的には、1つの 勘定科目に複数の課税区分が関連付けされていいますが、「優先順位」を指定することでコ ンバート時の課税区分を選定しております。以下の画面は、「5454.運賃」に関する設定が 表示されております。



上記の画面では、課税区分「5」の優先順位が「0」となっております。他の課税区分が「1」となっておりあす。この指定では、コンバート時に「5454.運賃」を使用してコンバートすると、優先順位「0」の課税区分「5」が使用されます。

注意:優先順位は、「0」が最も優先度が高く、「99」が最も優先度が低いものとなります。

8. 取引先一覧の登録とコンバート方法

コンバート時に TKC 側で登録されている取引先コードと関連付けを行うためには、以下の手順を行って下さい。

8.1.取引先一覧マスターの登録

取引先一覧マスターの登録方法は、以下の方法で行います。



上記の画面から「C.データ切り出し」 \rightarrow 「3.4. 取引先情報の切り出し」を選択します。 選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面が表示されたら「切り出し先フォルダ」を選択して「テキストファイル」ボタンを選択します。選択すると指定したファイルに取引先一覧マスターファイルが生成されます。 生成されたら取引先一覧を HAYAWAZA X に登録します。



HAYAWAZAXで事業所を開きメニューの「設定」 \rightarrow 「TKC FX4 シリーズマスタデータの登録」を選択します。選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面が表示されたら取引一覧マスターファイルをドラッグ&ドロップします。ドロップすると以下の画面が表示されます。



上記の画面の一覧から対象のファイルを選択してから「登録する」ボタンを選択します。

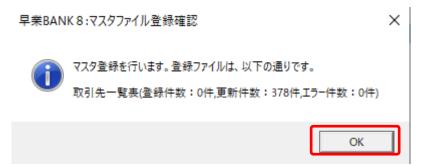
早業BANK 8:マスタファイル登録確認



選択されたファイルを登録しますか? 処理を開始する場合は、「はい」を選択して下さい。 処理を中止する場合は、「いいえ」を選択して下さい。



上記の画面が表示されたら「はい」を選択する取引先一覧が登録されます。登録が完了すると以下の画面が表示されます。

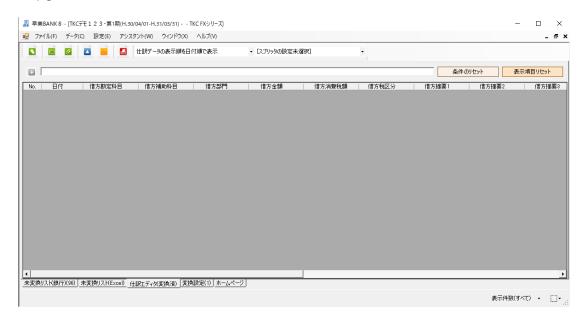


8.2.パターン設定時の注意点

取引先一覧を登録すると HAYAWAZAXでは、「借方摘要3」もしくは、「貸方摘要3」の文字列を利用して処理します。取引一覧マスターファイルを登録した場合は、銀行パターンもしくは、Excel パターンを登録時に借方摘要3もしくは、貸方摘要3を設定してパターン登録を行って下さい。

8.3.取引先マッチングリストの登録

HAYAWAZAXでは、書き出し時に借方摘要3もしくは、借方摘要3の文字と「取引先コード」もしくは、「取引先名称」を完全一致で比較します。完全一致した場合には、その仕訳の取引コードと取引名称を出力します。もし一致しない場合は、マッチングリストから対象の文字列が登録されていないか確認します。マッチングリストの確認方法は以下の通りです。



HAYAWAZAXで事業所を開きメニューの「設定」→「マッチングリストの管理」を選択します。選択すると以下の画面が表示されます。



例えば、借方摘要3に「ABC」と言う文字があり、この文字列を取引先の「東京食品」とマッチングさせたい時は、上記の画面の「新規登録」ボタンを選択します。選択すると以下の画面が表示されます。

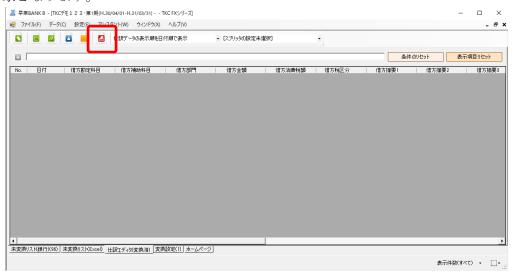


上記の画面に設定したら「登録する」ボタンを選択します。選択すると以下の画面が更新されます。



8.4.「O:随時入力」で取引先名を出力する方法

HAYAWAZAXでは、取引先一覧を登録することなく、書き出し時に「0:随時入力」で「取引先名」を出力することが可能です。この場合は、「借方摘要3」や「貸方摘要3」と言った特定の摘要だけの文字列が利用されるのではなく、「借方摘要 $1\sim3$ 」、「貸方摘要 $1\sim3$ 」が対象となります。



HAYAWAZAXで事業所を開き「書き出しボタン (赤いボタン)」を選択します。選択する と以下の画面が表示されます。



上記の書き出しの画面に「取引先名への書き出しオプション」が表示さます。ここで選択された摘要を「借方摘要1、2、3」、「貸方摘要1、2、3」の順番で連結して、取引先名として出力されます。

8.5.TKC 取込時のエラー対処方法

本章では、生成した仕訳ファイルを TKC に取込時にエラーが発生した時の対処方法についてご説明致します。

発生するエラー一覧は以下の通りです。

- ・将来の日付エラー
- ・資金収支区分エラー

・将来の日付エラー

本エラーは、仕訳の取引年月日が「本日の日付」を超えている場合があります。本日の日付を再度確認してから仕訳ファイルの取込を行って下さい。

・資金収支区分エラー

本エラーは、収支大分類が1~7および収支小分類が1~12の範囲でない場合に発生します。

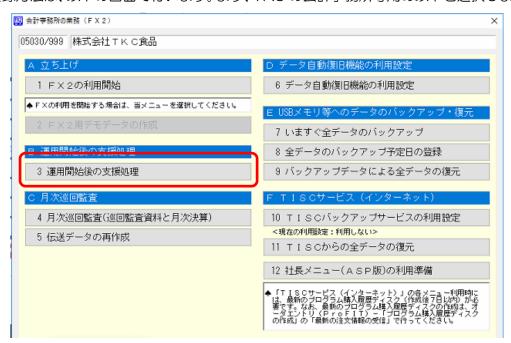


このエラーを解決するためには、以下の方法があります。

- 1) 会計事務所専用画面から「資金相手科目」を登録する
- 2) HAYAWAZAXの「資金相手科目一覧の管理」から勘定科目を登録する

1)会計事務所専用画面から「資金相手科目」を登録する

本登録方法は、以下の画面で行います。まず、TKC の会計事務所専用の以下を選択します。



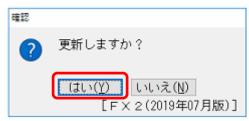
上記の画面で「運用開始後の支援処理」を選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面で「資金相手科目」を選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面に「6231」、「B」を登録して更新します。



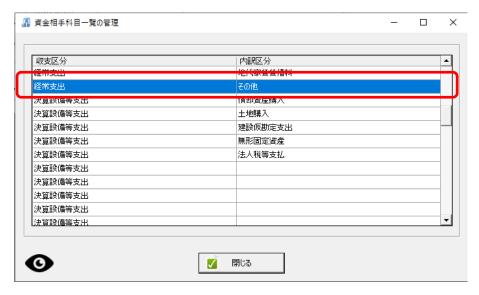
更新後、再度、仕訳ファイルの取込を行うと「資金収支区分エラー」が解消されます。

2) HAYAWAZAXの「資金相手科目一覧の管理」から勘定科目を登録する

本登録方法は、以下の通りで行います。HAYAWAZAXの事業所を開くと以下の画面が表示されます。



上記の画面が表示されたらメニューの「設定」→「勘定科目の管理」→「相手資金科目一 覧の管理」を選択します。選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面が表示されたら対象の行をダブルクリックすると以下の画面が表示されます。



上記の画面で「新規登録」ボタンを選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面で対象の勘定科目(6231)と記号(B)を選択したら「登録する」ボタンを 選択します。選択後、メイン画面に戻り、書き出しを行い仕訳ファイルを生成して下さい。

以上